

令和2年5月15日発行（3ヶ月毎 年4回発行）

議会だより

May
2020

5

かどがわ

No.162

笑顔で乗り切ろう！



陳情の審査はこうなりました。

「だんじり振興に関する陳情について」

陳情者:門川だんじり振興会(令和元年6月提出)

陳情の要旨

- だんじり振興会に関する祭運営費補助額の増額
1日中だんじり祭を楽しんでもらえるような工夫を凝らし、観客増に繋がっているが、準備を進めるにあたり費用不足が懸念されることから、補助金の増額を求めるもの。
- 門川町におけるだんじり祭の町外及び全国への積極的なPR
当振興会は、霧島酒造のCMと協力し、だんじり祭を通して門川町を全国にPRしているが、町としても町外に対する積極的なPRを求めるもの。

令和元年第3回定例会(9月)にて、委員会へ付託

委員会審査の結果

だんじり祭を盛り上げるために様々な取り組みを行い、観光客誘致についても積極的に図っていることは大いに賞賛すべき。最大限寄り添う形で援助していただきたい。

採択(賛成多数)

ただし、だんじり振興会におかれても、町や観光協会、商工会等と連携し、役割分担・負担軽減を進め、イベントの費用対効果を検証しながら盛り上げていただきたい。

本会議での討論

必要経費だ

宇都宮 三良 議員

門川町を代表する祭とし、年々集客数も増えている。町の活性化に繋がっていることは明らか。来場者の安全面の確保や、祭を更に盛り上げるためのゲストの招へい・イベントの開催等は必要であり、経費も増えるものと考えます。

地元の意見を聴くべき

神崎 千香子 議員

審査では、だんじり祭を支えている地元の意見を聴いていない。収支報告書では、ゲストに関する費用が大きな割合を占めている。補助増額するのであれば、地元や観光協会、関係団体と協議し、今後の祭の方向性を決めるべき。

賛成

だんじり振興に関する陳情について

反対

本会議での採決の結果
(だんじり振興に関する陳情について)

賛成 10 反対 1

可決



「海遊物産館うみすずめの門川町直営化の要望について」

陳情者:門川漁業協同組合(令和元年6月提出)

陳情の要旨

門川の豊かな水産物を提供・PRするために建設・運営を行ってきた「海遊物産館うみすずめ」は平成29年8月に休館した。休館する際には町長へ報告し、直営化による営業継続の要望をしたが、直営化はできないとの回答あり。休館から2年、県・県漁連とも相談を重ねてきたが、未だに営業再開の目途は立っていない。休館中であっても、リース料や保険料などのランニングコストが発生しており、組合経営を圧迫している。「さかなのまち門川」の拠点として、また水産業振興のために、町直営化による営業を求めるもの。

令和元年第3回定例会(9月)にて、委員会へ付託

委員会審査の結果

県・町の補助を受けての施設であること等から、町直営化は適正とは言えない。

不採択(賛成少数)

しかし、営業休止前の経営状況は黒字、新たな調理人の雇用による営業再開となれば、円滑な運営が可能と考えるが、門川漁業協同組合が単体で動くことは限界があるため、町当局は調理人の募集や施設の運営・PRについて関係機関を含めて協議を進めてほしい。

本会議での討論

町の活性化につながる

広瀬 拓也 議員

以前、うみすずめがあった時には、漁師の方から魚を少しでも高値で買い取るなどし、底値の安定と後継者不足の歯止めになっていた。昔から「さかなのまち門川」と言われているが、現在は魚料理を提供する店がないことは残念。営業再開により、乙島キャンプ場利用やカムリウミスズメ観察会なども連携すれば、町の活性化につながるのでは。

関係機関と連携して取り組むべき

神崎 千香子 議員

委員会審査では、休業の原因となった「調理人」が見つからない原因を掘り下げて検討していない。心の杜でさえ、赤字であり、町の直営化は厳しいと考える。
報告のとおり、商工会・水産関係者・地元住民などと連携して、うみすずめ再開に向けて取り組んでいくべき。

賛成

町の直営化に対して

反対

本会議での採決の結果
(町の直営化に対して)

賛成 4 反対 7

不採択



令和2年度の門川町はこのお金で動いていきます!

4億1670万円

地方消費税交付金 地方譲与税
地方特例交付金 環境性能割交付金
配当割交付金 交通安全対策特別交付金
株式等譲渡所得割交付金 利子割交付金

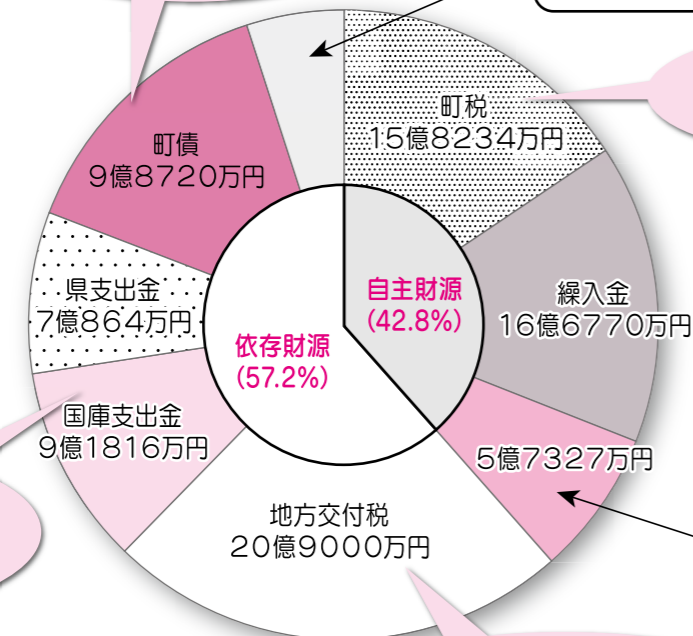
収入
89億4400万円



みんなで
守ろう!

緊急防災・減災事業債を含む、
いわば門川町の借金です。

私達が払っている
税金です



保育や医療など
使い道が決まった
補助金です

諸収入
使用料及び手数料
繰越金
分担金及び負担金
財産収入
寄附金

門川町の規模や、人口に応じて
国から交付されるお金です

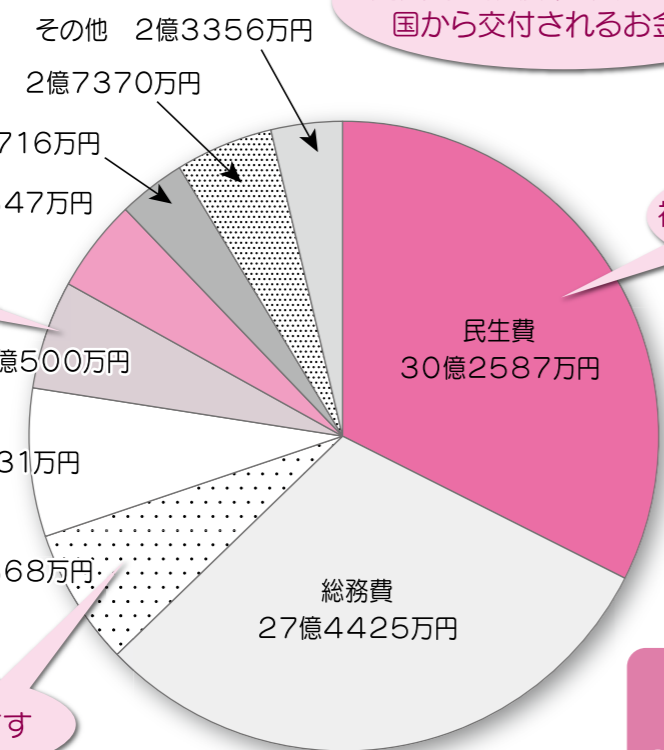
福祉に使うお金です

私たちの
門川町!



借り入れの
返済金です

ゴミ・尿の処理費です



支出
89億4400万円



令和2年度 当初予算

前年度当初予算比

一般会計	金額	前年度当初予算比
一般会計	89億4400万円	0.8%増
国民健康保険事業	23億2440万円	2.3%減
後期高齢者医療	4億6295万円	6.5%増
介護保険事業	16億1652万円	0.1%減
簡易水道事業	1061万円	17%減
公営企業会計(水道事業)	6億377万円	4.9%増

合計 139億6225万円 約0.5%増

(金額は千円未満切り捨て)

若手農業者支援

漁業就業者支援

雇用確保・起業支援

子ども医療費助成継続

コミュニティスクール

GIGAスクール

防災無線戸別受信機

機能別消防団創設

※写真はえびの市消防バイク隊のものです。

工業団地計画

「門川新時代予算」へいよいよ可決!!

令和2年度一般会計予算委員会審査

今回の各常任委員会の予算審査は、次年度に実施予定の事業等について、内容を一つ一つ慎重に審査し議論しました。その主なものを抜粋して掲載しています。

産業建設文教常任委員会

まちづくり推進課(商工観光係)

問：門川三大祭支援事業補助金100万円の内訳は。
答：補助要綱案を作成中だが、新年度もこれまで通り。予算が20万円の増となっているのは、各団体の総事業費の3分の1が補助額を超えた場合にはさらに予算の範囲内において、申請内容を精査した上で、上限を設けて補助することとしたもの。



中山神社大祭
(裸参り)

農林水産課・農業委員会

問：水産業振興費の門川町人材投資事業の交付条件は。
答：資金には、就業前と就業後の2種類がある。就業前は、県水産高等研修所に入所される学生で、親元での就業を予定している者。交付要綱は策定中であるが、就業後は町内に住所を有する者、門川または庵川の組合員資格を持つ者、1年以上の従事が見込める者を対象にする予定。



尾末神社大祭
(だんじり)



門川神社大祭
(白太鼓)

門川三大祭

建設課

問：尾末・納屋地区でのまちづくり基本調査の進捗状況は。
答：2カ年にわたって航空測量調査や土地家屋の権利調査等を実施している。今後は区域図の作成や整備課題の設定を進める。

教育総務課(共同調理場)

問：小・中学校のトイレ洋式化の予定箇所数は。
答：門川小13基、草川小9基、五十鈴小10基、門川中10基予定。



洋式化されたトイレ(五十鈴小学校)

社会教育課

問：海浜公園の遊具撤去とは。子ども用遊具はなくなるのか。
答：現在の遊具はすべて撤去の予定。撤去後は臨時駐車場や広場として使えるように整備予定。遊具は、開園当初からのもので老朽化が進んでおり、改修費用も高額であることから撤去することとした。



撤去される海浜公園遊具

環境水道課

問：資源物取引業務における雑入のアルミ缶やスチール缶などの金額は入札で決まるのか。
答：上半期・下半期の年2回の入札で決定している。
問：公共水域水質検査について回数と検査箇所数は。
答：海域は14カ所を年3回、河川は13カ所を定点で年4回実施。併せて魚介類調査も年1回行っている。

総務財政厚生常任委員会

総務課

問：自主防災組織整備補助金30万円を50万円にできないか。
答：令和2年度は現状のまま。

財政課・新庁舎建設室

問：新庁舎建設は、令和2年度の計上額で全額と考えて良いか。
答：令和2年度の計上額は、12億7,275万8千円。今後、避難経路及び法面整備工事として約3億円程度を補正予算で提案見込みである。総額としては30億円程度と見込まれる。



新庁舎現場見学の様子

まちづくり推進課・心の杜

問：工業団地整備計画の内容は。
答：整備の基本方針、開発候補地の検討、開発の手法、概算事業費、スケジュール等の基本計画を作る。
問：心の杜の燃料の一部であるパークペレットの単価は。
答：1トンあたり3万3千円で市場単価と大きな相違ない。地元業者の支援を兼ねており、継続の見込みである。



心の杜

町民課

問：日向病院の現状は。
答：脳神経外科は令和2年3月末で閉鎖。4月より脳神経内科医が就任する。



福祉課

問：病後児保育計画における次年度の開設予定は。
答：近年、待機児童の問題が出ている。子育て人づくりセンターとしてどの方向がよいのか、指定管理者や利用者等と検討している。

総務財政厚生常任委員会からの意見

- 心の杜の経営について、開館以来20年が経過し、現在、必要経費の増大が生じている。施設建設当初の目的や福祉事業としての役割を考慮しながら、経営改善に向けて努力すべきではないか。
- 町の業務の中で、担当職員が不足している部署があるように見受けられる。適正な人員を確保すべきではないか。

あなたの声を町政に 一般質問 3人が登壇!

一般質問は議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



新型コロナウイルス感染症対策は

みずなが まさつぐ
水永 正継

町長 国、県等と連携し対策を図っていく

町長 感染が疑われる方は、まずは、日向保健所に設置してある「帰国者・接触者相談センター」に相談を行っていただく。感染の疑いがあると判断された場合は、保健所の指示を受け、感染対策を行った医療機関を受診する。

町長 2月28日に門川町新型コロナウイルス対策本部を設置し、現在、感染拡大防止に向けて必要な対策をとっているところである。

問 新型コロナウイルス感染症に対して、門川町ではどのような対策・対応をとっているのか。感染症が広まり始めてからでは遅い。それ以前の対策は。



町長 感染症の中でも感染力の強さから社会的影響が大きいものは「門川町新型コロナウイルスエンザ対策行動計画」に沿って動いていく。

問 新型コロナウイルス感染症に対して、町の組織はどのような動きなのか。

町長 国や県、保健所等と連携しながら、町民に対する適時適切な情報提供、感染拡大に備えた体制整備など必要な措置をとっていく。

問 感染者が出たときは。

町長 現在、本町においては、身体障がい者手帳の補装具として補聴器購入などの支援を行っている。加齢性難聴者に対する補聴器購入助成については、新たに制度を創設するには明確な基準を設定することが今のところ困難である。

問 現在難聴者の14.4%しか補聴器をつけていないとの推計がある。理由は補聴器が高額であるからか。難聴者への聞こえの支援は重要である。加齢性難聴者への補聴器購入の助成はできないか。

問 加齢性難聴は日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす大きな原因となっている。最近ではうつや認知症の危険因子になることも指摘されている。



片側にだけしか手すりのない役場階段

町長 公共施設を管理する町としては配慮が必要な方への利便性の向上を図ることは重要だと考えている。階段の両側に手すりがない施設があるが、階段の幅員などにより設置できない諸事情がある。新庁舎ではバリアフリーの観点から階段両側の手すり、エレベーターの完備など利便性の向上を図っている。

問 公共施設での手すりの設置状況について、無いところ、片側だけのところと様々である。身体障がい者にとって両側に手すりがあると助かる。両側に設置の認識が大事ではないか。

討論

「一般会計予算について」



出口 希俊 議員

納得できる予算を

心の杜予算は、赤字が続いているにも関わらず、何の対策もされないまま今年も予算が組まれようとしている。今期は一時休館し、もっと町民が利用しやすいような対策を講じた上で再開しては。わが家の家計だと思って、町民が納得できる予算を。



中城 資力 議員

健全な財政運営だ

今回の予算は、新しい時代に向けての予算。農業や漁業、教育や防災など、次の世代に対して重要な予算組である。町債に関しても、県内トップクラスの低さであり、健全な財政運営である。



神崎 千香子 議員

議会軽視では

日向病院の脳神経外科の閉鎖の件で、本会議の町長答弁と委員会での担当課の説明に違いがあり、町長に本会議において詳しい説明するよう求めたが応じなかった。この事は、予算の説明責任も果たさず、議会軽視と判断する。



森川 春夫 議員

円滑な事業推進を期待

新年度予算は、各種事業の円滑な推進を図るため、十分に審査し、計上された予算だと思います。新年度の円滑な事業の推進を期待します。



3月定例会 表決表

(○：賛成、●：反対、欠：欠席、－：議長)

議案名 (全員賛成の議案は除きます)	広瀬 拓也	宇都宮 三良	出口 希俊	山岡 節夫	中城 資力	森川 春夫	菊地 稿治	森 誠一	請関 義人	水永 正継	神崎 千香子	安田 茂明	岩佐 祐一	内山田 善信
海遊物産館うみすずめの門川町直営化の要望	○	○	○	●	●	欠	●	欠	●	○	●	●	●	－
だんじり振興に関する陳情	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	●	○	○	－
令和2年度一般会計予算	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	－



かんざき ちかこ
神崎 千香子

草川地域も観光プランに

町長 乙島中心で

まちづくり・観光
問 乙島を中心とした周辺海岸の観光開発調査の進捗状況は。

町長

乙島利用者に対するアンケート調査や観光協会、渡船組合との意見交換、また乙島での企業研修の可能性について、現地調査を実施した。今後は町内関係団体からの意見も踏まえて、観光ビジネスプランを策定予定である。

問 遠見半島、心の杜、海浜公園を含め、門川の海岸線を総合的に活かすため、民間、行政、専門家などを入れた協議会を設置し、より積極的な観光戦略の必要があるのではないか。

町長

遠見半島、心の杜、海浜公園を含め、門川の海岸線を総合的に活かすため、民間、行政、専門家などを入れた協議会を設置し、より積極的な観光戦略の必要があるのではないか。

まちづくり推進課長

協議会の設立については、現在取り組んでいる乙島活用の観光ビジネスプランの実行体制を含めて検討を行う。



遠見山森林公園散策路

まちづくり推進課長
延岡市とは、広域観光の取り組みの中で反映していきたい。

町長

本年度、3月に地域防災計画の見直しを行い、加草・中村線など「津波避難に関する対象施設毎の実施事業」も見直す。

町長

本年度、3月に地域防災計画の見直しを行い、加草・中村線など「津波避難に関する対象施設毎の実施事業」も見直す。

教育問題

問 小中学生の不登校の現状と取り組みは。

教育長

現在、小学校は、平成30年度は3名、今年度は、1月現在で2名。中学校は、平成30年度25名、今年度1月現在で21名。学校では、保護者への連絡や家庭訪問を行う他、「不登校対策委

員会」を開催し、関係機関との連携も行って。また毎月児童生徒にアンケートを実施し、学校や家庭での問題や悩みの事前把握に努めている。

町長

門川中学校では、不登校対策サポートコーナーを配置し、学習支援や教育相談を行っている。

町長

令和2年度は、「教育支援センター」を設置し登校に向けて、段階的に支援し、相談機能も充実させていく。

環境問題

問 地球温暖化対策の取り組みと進捗状況は。

町長

空調温度の適正化やこまめな消灯などに取り組んでいる。進捗については、平成27年度のCO₂排出量を基に令和3年度の排出量を5%削減することを目標としており、計画2年目の昨年度は、ほぼ横ばいで推移している。

年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
平成27年度	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	14,802
平成28年度	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	14,802
平成29年度	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	14,802
令和元年度	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	14,802
令和2年度	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	14,802

庁舎の年度別CO₂排出量

環境水道課長
排出量の実績については、ホームページで公表している。

町長

この公表は、町民向けの啓発だろうが、この表は何の表なのか。減量結果もわからない。町長は、この表を見たのか。

町長

もっと、見やすく、どのような効果があったか等も含めて分かりやすく改善していく。

町長

記憶にない。



地方創生総合戦略5カ年計画の成果は

やまおか せつお
山岡 節夫

町長 着実に前進



庵川フィッシャーマンズフェス

町長
かどかわワンパク、庵川フィッシャーマンズフェス等、イベントの開催や魅力情報発信は町外の方にもアピールできており、今後も継続していきながら、関係人口を増やしていく。

問 本町に新たな人の流れは生まれたのか。

町長

人口減少の克服、地域経済の発展や活力ある地域社会の形成を目指し、総合戦略事業5カ年計画に取り組んできた。計画期間終了に伴い、基本目標の成果を問う。

まちづくり推進課長
誘致促進策として、企業立地奨励制度の見直しや、スマートイン

問 企業誘致活動が停滞しているように思えるが。

町長

門川ブランド認定商品のPR活動を通じて町内企業を支援。商工会・金融機関とも情報共有しながら、創業支援の補助制度にも取り組んでいく。

問 本町で仕事を創り、安心して働ける仕組み作りはできたか。

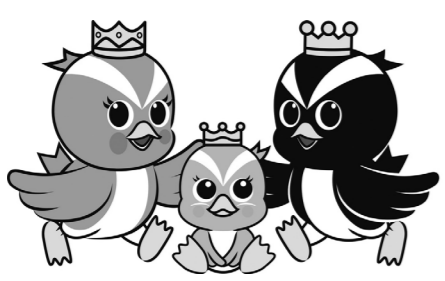
町長

地方創生ではいろいろな施策事業に取り組んでいる。数値目標が達成できれば、関連して訪問客増加につながっていくものと考えている。

問 延岡市・日向市と比較して門川町は訪問客が少ない。観光面での施策が必要ではないか。

まちづくり推進課長

地方創生ではいろいろな施策事業に取り組んでいる。数値目標が達成できれば、関連して訪問客増加につながっていくものと考えている。



問 婚活に対する取り組みは。

タ1周辺候補地の工業団地基本計画策定に着手する。

問 移住定住促進・結婚から子育て支援までの支援充実計画通りに進んだのか。

町長

移住定住促進は宅建協会と一緒に空家バンク開設・運営に取り組む。結婚・子育て支援については婚活イベントの開催や子ども医療費の助成対象を中学生まで拡充し、保育料負担軽減も継続していく。

福祉課長
他市の施設を利用した場合の助成については別途検討が必要である。

問 日向市には病児保育施設を併設した病院がある。日向市と日向市外の方では利用料金が異なるが、本町の利用者に対して助成の考えはないか。

福祉課長

病児・病後児保育所開設には利用者の理解と、受け入れるための施設改修が必要である。現在、利用者のアンケート調査や施設改修の見積りを行っているところである。

問 共稼ぎ世帯は病児・病後児保育所開設を希望している。取り組みが進んでいるか。

町長

進捗管理や評価管理は総合戦略で定めている方法で行っている。他市町村も同様の方式を採用している。

総合戦略の評価について

問 事業計画の進捗管理や評価管理の面で課題はなかったのか。

町長

進捗管理や評価管理は総合戦略で定めている方法で行っている。他市町村も同様の方式を採用している。

問 事業内容を改善しながら、目標達成に向かっていく過程の評価が不足している。費用対効果も評価できる行政評価シート方式を導入する考えはないか。

まちづくり推進課長

行政評価シート導入にはいろいろな課題がある。様々な意見を反映しながらより良い進捗管理や評価管理に努める。

人事案件

農業委員の任命同意

現委員の任期満了後の次期農業委員10名の任命について、議会に同意を求めるもの。

○任期：令和2年7月20日から令和5年7月19日までの3年間

- 川崎 正義 氏
- 黒木 稔 氏
- 藤本 寿弘 氏
- 米良 成志 氏
- 児玉 道治 氏
- 染田 良作 氏
- 安田 元信 氏
- 金丸 幸子 氏
- 米良 多恵子 氏
- 津島 伊佐雄 氏

(可決・全員賛成)



次期農業委員は、女性が1名から2名に増えました。さらなる農業の発展が期待されます。

条例制定

男女共同参画推進条例の制定

男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進することにより、男女共同参画社会を実現させるための基盤とするために、基本理念や基本的な施策等を定めることを目的とするもの。

(可決・全員賛成)

附属機関設置条例の制定

地方自治法138条の4第3項の規定に基づき、町の附属機関を設置するため、条例を制定するもの。

(可決・全員賛成)

条例の改正

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

児童福祉法及び厚生労働省令で定められている基準の見直しに伴い、条例を改正するもの。

(可決・全員賛成)

監査委員条例の全部改正

令和2年4月から、現行の監査

委員条例の全部を改正し、法に求められる事項を明記した、新たな監査委員条例を制定するもの。

(可決・全員賛成)

非常勤の特別職の職員の報酬等に関する条例の一部改正

要件の厳格化に伴い、特別職の非常勤職員の要件に該当しなくなる職を、報酬等に関する条例から除外するもの。

(可決・全員賛成)

消防団員の定員、任免、給与、職務等に関する条例の一部改正

団員任用要件の一部緩和、機能別消防団員の設置、団員欠格条項の一部を改正するもの。

(可決・全員賛成)

手数料徴収条例の一部改正

「火薬取締法に基づく火薬類の製造の許可等に関する事務の処理」について、県から町へ権限委譲を受けたことから、煙火消費許可申請手数料を新たに設けるもの。

(可決・全員賛成)

社会教育委員設置条例の一部改正

社会教育委員の委嘱基準の追加と会議の開催回数の変更、及びその成立要件の追加を行うもの。

(可決・全員賛成)

図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正

図書館に対する期待が膨らむ中で、多方面からのご意見をいただくために定数増の改正を行うもの。

(可決・全員賛成)

印鑑条例の一部改正

印鑑登録をする際の条例の一部を改正するもの。

(可決・全員賛成)

企業立地促進条例の一部改正

雇用情勢の改善に向けた企業への支援を強化するため、新規雇用者の定義及び企業立地促進審議会の委員数等について改正を行い、さらなる企業への支援体制の拡充を図るもの。

(可決・全員賛成)

水道事業の設置等に関する条例の一部改正

上納屋1区、2区及び3区が4

その他

町道路線の認定及び廃止

認定する路線は宮ノ前1号線の1路線。廃止する路線は本津々良2号線およびカギ田～杭原線の2路線。

(可決・全員賛成)

定住自立圏形成協定の一部変更

協定書の別表「福祉」の取り組みの内、「障がい者の支援体制の構築」の内容を一部変更するもの。

(可決・全員賛成)

発議

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策事業等の期間延長を求める意見書

国土強靱化のための対策事業が2020年までとなることから、防災・減災事業債を含めてその期間延長を求めるもの。

(可決・全員賛成)

(記 広瀬)

次回6月定例会の予定 ※日程は変更になる場合があります		
6/9(火) ～ 6/17(水)	9日(火)	(開会)議案の上程
	10日(水)	一般質問
	11日(木)	一般質問
	17日(水)	議案の採決(閉会)

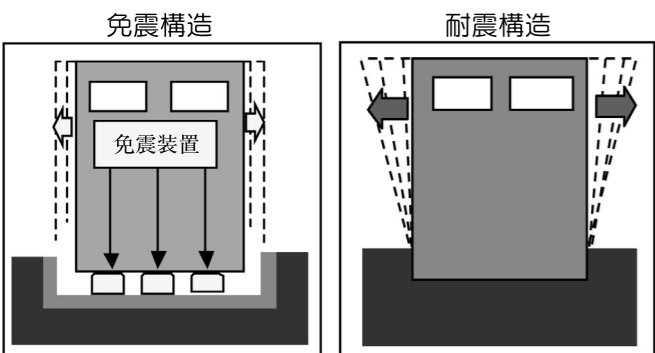
左記の日程で開催を予定しております。日程は変更になる場合がございますので、日にちが近くなりましたら、町のホームページや回覧板でご確認ください。

本会議における傍聴について、新型コロナウイルス対策が講じられている場合には、積極的な案内はいたしませんのでご理解ください。

新庁舎免震装置を学ぶ

令和元年度より始まった「新庁舎建設」、今回導入された「免震装置」とは、どんなものなのか？

「免震装置」とは、「耐震構造」と比べて、揺れによる被害を最小限に抑えることのできる装置をいいます。通常の耐震構造は、下図のように階層が上に行くほど揺れが大きくなり、内部での家具類の倒壊や建物の大きな被害が想定されます。しかし「免震装置」の場合、建物は「ゆっくりと揺れる」ことにより、内部および外部の倒壊を防ぐことができます。



実際に設置した免震装置

実はこの「免震装置」、ものすごく硬いゴム製で、新庁舎には40基設置される予定。縦揺れにも横揺れにも対応できるんだよ！これで安心だね！



議会だよりモニターとの意見交換会をしました

令和2年2月17日(月)に、議会だよりNO.161(令和2年1月15日発行号)について議会だよりモニターの方々と意見交換をしました。その内容を抜粋して掲載します。

紙面全体について

- ・ 町民の声が載る紙面・若い人が載る紙面は関係者が見てくれると思う。

議会報告会について

- ・ 議員と町民の間を近くするよう、歩み寄ってくれると良い。

町民の声について

- ・ 地区ごとの意見を掲載しては。
- ・ 1人1人にインタビューをするのではなく、座談会形式にしては。



いただいたご意見は、今後の議会だより編集の参考にさせていただきます。
貴重なご意見をありがとうございました。

書面で きかせて！ 町民の声

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今回は町民の方へのインタビュー等を自粛させていただきましたが、書面にてご意見・ご感想をいただきましたので、抜粋して掲載します。

議会だよりかどがわNo.161(2020年1月発行号)での、「いじめ問題」についての一般質問のページを見て驚きました。門川町の小・中学校での「いじめ」がこんなに多いとは思いませんでした。

私は、町内小学校に車いすとアイマスクの体験活動に参加させてもらったことがありますが、この体験で「相手への思いやり、相手からの思いやり」を感じたはずで、人に対する思いやりは「いじめ」を無くすはずで、「いじめ」がなくなること願っています。

(ペンネームYさんより)

貴重なご意見をありがとうございました。

このように、書面によるご意見・ご感想等も随時募集しております。

〒889-0696 門川町本町1-1

門川町議会 議会広報編集特別委員会 までお送りください。

議会の活動

門川町議会議員研修会

「演題」 門川町立図書館の概要と取組～図書館の夢～

日時 令和2年2月14日

場所 門川町議会議場

講師 門川町立図書館 館長 松田朝子 氏

図書館の存在が、町の文化そのものであり、知的財産の保有と町民の知的水準を向上させる役割を大いに担っている事を再認識したところです。

松田館長が取り組んでこられた数々の事業の効果が実を結びつつあることを付記いたします。

<図書館の概要>

1. 開館は2002年7月
2. 蔵書数は110,405冊(うち児童書数は34,630冊)
3. 来館者数は52,939人(2018年)
4. 貸出冊数は61,115冊(2018年)



図書館は
成長する有機体である

(インド図書館学者：ランガナートン)

門川町漁業従事者と町議会議員との意見交換会

日時 令和2年2月26日(水)

場所 門川町役場 南別館2階会議室

出席者 門川漁業協同組合 17名

門川町議会議員 13名

今回、議会活動の一環として町漁業従事者と議会との意見交換会を開催しました。

2時間に及ぶ白熱した意見交換会でありました。その要点を記載致します。

1. うみすずめの復活と町直営化を切望する。
2. 魚価の安価、不漁、燃費高騰、漁労機器の補修等で漁業従事者は疲弊している。補助金の目処は。
3. さかなのまち門川の火を消さない施策を。
4. 津波避難タワーの設置の必要性を真剣に議論して欲しい。先進地視察を行政に反映すべきだ。
5. 心の杜温泉施設の赤字体質の改善を、議会としてもっと掘り下げて欲しい。



街角スナップ

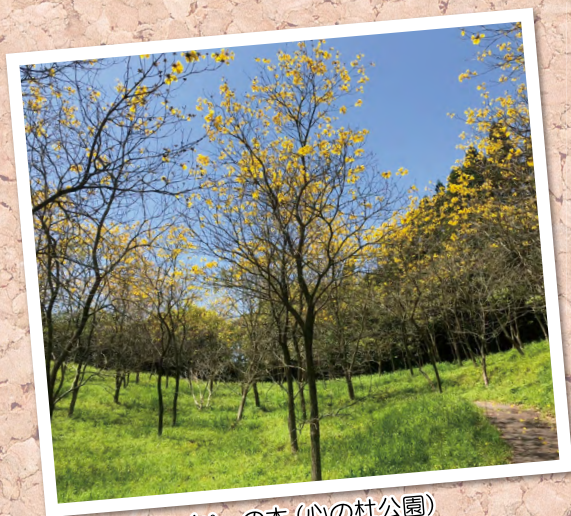
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、毎号実施しております「あなたの夢はな～に？」や、「きかせて町民の声」などのインタビューについては自粛させていただいております。
楽しみにして下さっていた方には申し訳ありませんが、ご了承くださいませようお願い申し上げます。



勝連寺・日蓮聖人像(町指定文化財)



シヤクヤクの花



イペーの木(心の杜公園)



コロナに負けないぞー!



編集後記

世界中で新型コロナウイルスの感染が広がり、県内でも多数の感染が確認されました。感染された方の1日でも早い回復と感染終息を祈るばかりです。
3月議会では、今年度の予算審査が行われました。今年も1年間読みやすく、伝わりやすい議会広報誌を目指していきたいと思ひます。

(記：広瀬)

■発行者／門川町議会議長 内山田 善信

■編集／議会広報編集特別委員会

〒889-0696 宮崎県東臼杵郡門川町本町1丁目1番地 TEL：(0982) 63-1140

■議会広報編集特別委員会／委員長 岩佐 祐一 副委員長 中城 資力
委員 出口 希俊 宇都宮 三良 広瀬 拓也

■印刷／有限会社 第一印刷